

2020年4月2日

記者各位

出光音楽賞実行委員会
出光興産株式会社
株式会社テレビ朝日

第30回出光音楽賞 受賞者決定

「出光音楽賞」は出光興産株式会社主催の音楽賞で、主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置き、新進の音楽家を顕彰してまいりました。本音楽賞は1990年に制定され、このたび第30回を迎えました。

これからも本音楽賞を通じて、新進音楽家の活動を支援し、日本の音楽文化の向上に貢献してまいります。

第30回「出光音楽賞」の受賞者は選考の結果、下記の3名に決定いたしました。

(五十音順／敬称略)

受賞者にはそれぞれ賞状ならびに賞金300万円が贈られます。

記

■さとう はるま佐藤 晴真 (チェロ／22歳)

1998年2月27日愛知県名古屋市生まれ
現在、その将来が最も期待される弱冠22歳の新進気鋭のチェロ奏者。

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。2018年には、ルトスワフスキ国際チェロコンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。

第11回泉の森ジュニア チェロコンクール 中学生部門金賞、第67回全日本学生音楽コンクール チェロ部門高校の部第1位および日本放送協会賞、第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞、第13回ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、第1回アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重



ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。また、NHK テレビ、NHK-FM にも出演している。2018 年 8 月には、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。

2019 年 12 月には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。

2020 年は Санктペテルブルク交響楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、プラハ放送交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、NHK 交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団など国内外のオーケストラに招かれており、サントリーホールチェンバーミュージック・ガーデンなど室内楽にも積極的に活動している。これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。

現在は、ベルリン芸術大学にて J=P.マインツ氏に師事している。

2013 年度東京都北区区民文化奨励賞。2016 年度東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。2018 年度ロームミュージック ファンデーション奨学生。2019 年度第 18 回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

使用楽器は宗次コレクションより貸与された E.ロッカ 1903 年。弓は匿名のコレクターより貸与された F. Tourte。

ベルリン在住。

はっとり もね
■服部 百音 (ヴァイオリン / 20 歳)

1999 年 9 月 14 日東京都港区生まれ
5 歳よりヴァイオリンを始め、6 歳で桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室に入室。

8 歳でオーケストラと初共演。2009 年 リピンスキ・ヴィエニヤフスキ国際コンクールのジュニア部門で史上最年少第 1 位及び特別賞を受賞、全日本芸術コンクールで 1 位。

東京都教育委員会、港区教育委員会より表彰を受ける。

2010 年より日本、ミラノ他でリサイタルやオーケストラとの共演を行うほか、ロシア、スイス、イタリア、ポルトガル、ドイツなどヨーロッパ各地でコンサートやオーケストラとの共演などをスタート。

2013 年ヤング・ヴィルトゥオーゾ国際ヴァイオリン・コンクール(ブルガリア)のジュニア部門でグランプリ、特別賞を受賞。同年、ノヴォシビルスク国際ヴァイオリン・コンクール(ロシア)において、特別にシニア部門参加を認められ、最年少グランプリを受賞。並びに審査員特別賞、新曲賞を受賞。



2014年9月にはハチャトゥリアン音楽祭(アルメニア)、15年4月にはトランス=シベリア芸術祭(ロシア、ノヴォシビルスク)に参加。

2015年4月にはウラディーミル・アシュケナーズ指揮、EUユース管弦楽団とスイス及びイタリアで演奏。

同年ボリス・ゴールドシュタイン国際ヴァイオリン・コンクールでグランプリを受賞。

2016年3月にはサンクトペテルブルクのマリンスキー劇場で演奏、11月から12月にかけて名古屋、大阪、東京(紀尾井ホール)でリサイタルツアーを開催。

2016年10月デビューCD「シヨスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン:カルメン幻想曲」を発表。

『レコード芸術』誌特選盤等、高い評価を受けた。

2017年第27回新日鉄住金音楽賞《フレッシュアーティスト賞》、岩谷時子《Foundation for Youth》を受賞。

同年、読売日本交響楽団と東日本ツアー、日本センチュリー交響楽団と西日本ツアーを行い、名古屋、大阪、札幌、東京でリサイタルツアーを行う。

2018年3月にはオスロでリサイタル・デビュー、6月にはトランス=シベリア芸術祭 in Japan 2018に参加。

10月には大阪フィルハーモニー交響楽団、11月には札幌交響楽団との共演。

同年 第5回アリオン桐朋音楽賞、第1回服部真二音楽賞《Rising Star》を受賞。

2019年には、NHK交響楽団 定期演奏会および北海道ツアーに参加。

ロビン・ティチャーティ指揮ベルリン・ドイツ交響楽団を迎えてのサントリーホールでのコンサート、アジアユースオーケストラとの日本を含むアジア 8ヶ所のツアー、紀尾井ホールでのリサイタルなど精力的な活動を展開。

2020年には、港区の成人式「成人の日の集い」で特別ゲスト(本人も新成人)として演奏。

3月、フ란ツ・リスト室内管弦楽団とのハンガリー、ドイツ 16ヶ所でのコンサートツアーに参加。

第21回ホテルオークラ音楽賞の受賞が発表されている。

使用楽器は上野製薬株式会社より貸与されているピエトロ・グアルネリ。

現在、ザハール・ブロン・アカデミーに在籍、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースに在学中。

■ ^{ふじた}藤田 ^{まお}真央 (ピアノ/21 歳)

1998 年 11 月 28 日東京都新宿区生まれ
2019 年 6 月チャイコフスキー国際コンクールで第 2 位を受賞。聴衆から熱狂的に支持され、ネット配信を通じて世界中に注目された。入賞記念ガラ公演では、ワレリー・ゲルギエフ指揮/マリインスキー歌劇場管弦楽団と共演、喝采を浴びたことは記憶に新しい。

2019/2020 シーズンは、ゲルギエフ指揮/マリインスキー歌劇場管弦楽団と共演しロンドン・デビュー。THE TIMES 紙で「藤田は素晴らしい表現力と趣味の良い感性を持っており、躍動的で雄弁な詩情と、深みのある解釈を持ちつつ、恐れを知らない大胆な表現ができる。」と大絶賛された他、ミュンヘン、モスクワ、サンクトペテルブルグ、ソウルなどでもデビュー。これまでにルール音楽祭、ナントのラ・フォル・ジュルネに参加した他、今後ラ・ロック・ダンテロン音楽祭、白夜祭(マリインスキー劇場)、ユーロマラ音楽祭(ラトヴィア)などにも出演予定。

国内では、2019 年 12 月ゲルギエフ指揮/マリインスキー歌劇場管弦楽団日本公演で、急な代役としてチャイコフスキー:ピアノ協奏曲第 2 番を演奏。初めての演奏にも関わらず、瑞々しい音色、豊かな抒情性、類まれな音楽センスで、多くの聴衆を魅了。指揮者やオーケストラからも讃辞を受けた。

さらに、2019/2020 シーズンは、シューマン:ピアノ協奏曲、ショパン:ピアノ協奏曲第 1 番、ベートーヴェン:ピアノ、ヴァイオリン、チェロと管弦楽のための協奏曲を演奏。今後はモーツァルト:ピアノ協奏曲第 24 番、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第 2 番、第 3 番、第 4 番などにも取り組んでおり、確実にレパートリーを広げている。

これまでに、ワレリー・ゲルギエフ、カーチン・ウォン、オレグ・カエターニ、リッカルド・ミネーシ、クリスティアン・ツァハリアス、飯守泰次郎、小林研一郎、秋山和慶、大友直人、飯森範親、藤岡幸夫、マリインスキー歌劇場管弦楽団、ミュンヘン・フィル室内管弦楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等と共演。

2017 年には弱冠 18 歳で、第 27 回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。2016 年には、故中村紘子氏が最後に音楽監督を務めた浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第 1 位に輝くなど、国内外での受賞を重ねている。

話題の映画『蜜蜂と遠雷』では風間塵役の演奏を担当。インスパイアード・アルバム『藤田真央 plays 風間塵』が評判になっている。最新 CD はレコード芸術誌で特選盤になった『ショパン:スケルツォ/即興曲』。



『題名のない音楽会』『報道ステーション』などメディア出演も多い。
ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第 49 回奨学生。第 21
回ホテルオークラ音楽賞の受賞が発表されている。
東京音楽大学で野島稔氏、鷺見加寿子氏に師事、2020 年 3 月卒業。

以上

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課 TEL : 03-3213-3115

URL <https://www.idss.co.jp>